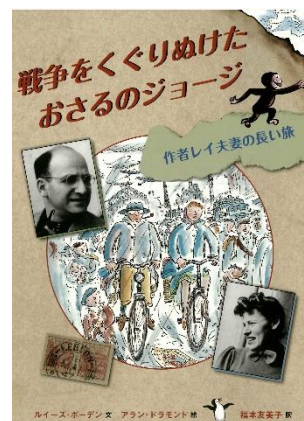


「2 学期・命の週間」の取り組みの様子

夏季休業日が明けた 8 月 27 日（木）～9 月 2 日（水）まで、「命の週間」として、全学級で、「命の大切さ」について考える取り組みを行いました。

☆校長講話☆

8 月 27 日（木）始業式では、校長が絵本「戦争をくぐりぬけたおさるのジョージ・作者レイ夫妻の長い旅」（岩波書店）を紹介。二人で励まし合い、助け合って戦争を潜り抜け、本を出版したレイ夫妻の人生を通して、人の生き方や命を守る大切さを知る機会となった。



☆特別の教科・道徳☆

全学級で、「生命の尊さ」の内容の授業を行った。

扱った教材はそれぞれ異なるが、どの学級も「命を大切にしたい」

「普通に生活することは当たり前ではない」など、命の大切さについて考えることができた。

4 年道徳 生命尊重

「わたしの見つけた小さな幸せ」



☆教科の学習☆

国語や生活科、総合的な学習の時間の学習で、植物や動物の命、自然災害、ハンセン病などの学習の中で、命の大切さについて学んだ。

教師の経験（妊娠や教え子の死など）を話すことで、命を身近に感じる学びになった学級もあった。

☆安全指導（学級指導他）☆

全校で「夏休み明け生活リズムカレンダー」に取り組んだ。長期休業明けの自身の心身の健康状態に目を向ける機会となった。

また、朝の挨拶では、「あいさつ+ひとこと運動」で、教職員が進んで児童に声をかけ休み明けの児童の様子に心を配る機会となった。

